

よした

- 理事長挨拶
- 理事・役員挨拶
- 本年度の歩み (LOMメンバー)
- 2015年度新会員
- 卒業生挨拶

2015年 一般社団法人 津山青年会議所スローガン

WALK THIS WAY

王道踏破

志を持ち未来を切り拓く道を歩もう



Junior Chamber International TSUYAMA
 一般社団法人 津山青年会議所

<http://tsuyamajc.or.jp/>



事業の詳細や
 津山JCの今がわかる!
 ホームページも更新中!



河原 淳

第58代 理事長

抱負： 私利を廃し公の心を持ってあらゆることへ挑みます!!

津山青年会議所は『明るい豊かな社会の実現』という、恒久的に取り組まなければならない大きなテーマのもと、57年間津山圏域において活動、運動を展開して参りました。本年2015年度は現在津山圏域に住み、暮らしている方々に、真に津山圏域、この地域への誇りと自信、ひいては愛着を持っていただくためにはどうした活動を展開し、運動につなげなければならないかを念頭に日々模索しながら歩みを進めてまいりました。今のまちへ目を向けると、人の流れや、経済の質や量を含め、大きな変動にある過渡期であり、自らが生まれ育ったいわゆる『ふるさと』への関心が希薄で、若年層を中心に地元における地域社会とのつながりを見失いがちなところが、全てではないにせよ否定できない現状にあります。こうしたときこそ、地元地域にないものを求めるのではなく、今あるものや、先達に残していただいたものを振り返り、新しい視点や考え方でそれらを発掘、あるいはフォーカスを当て、内外への発信が必要ではないかと考えました。総じてソーシャル・ストックを活かすということに繋がっていきますが、ソーシャル・ストックとは“地域において過去から現在、現在から未来へと受け継がれる、風土・風習をはじめとするその地域の特有の感性から生まれたもの”のことと捉えています。この地域が育んできた歴史・文化・伝統・習俗・景観などの資産はそこに住み暮らす人々がいたからこそ生まれ、継承してきた物であり、そのまちで生まれ育った人々に宿るDNAであるとも言えます。

地域が大切にしてきたものによって活かされる、それはつまりはこの地域で生まれ、育まれてきた、あるいは培われてきた文化や風土・風習に付加価値をつけると同時に、市民の感性と資源、財産をつなげていくことが重要であり、その地域に脈々と受け継がれてきた「魂(大和魂、〇〇魂など)」を膨らませること、津山圏域だからこそ出来るま

ちづくりを指します。津山にしかないもの、他地域のコピーや使いまわしではなく、ソフトやハードをひっくるめた津山独特の立体的なまちづくりを推進することが、より濃い地域色を出すことや、他の地域との差別化が図れた魅力あるまちづくり、さらにまちの内外への発信源へとつながっていきます。言うなれば都市部にみられる華やかさや賑やかさ、先鋭的と言われる時間軸を無視したような発展や開発ではなく、地元地域にしっかりと根付いた先達の築いて来られた歴史や伝統、習俗などの縦軸によって受け継がれてきたものと、馴染み深い人々のつながりによって定められる横軸との交わる場所に立ち、自らの役割や想いを確認して、未来志向による地域の創造に向けて同じ方向を見つめることが、津山青年会議所らしさ、いわゆる王道と捉えております。その方向へ向かって、しっかりとした足取りで歩を進める、行動を持ってその王道を踏破することをスローガンとして一年間邁進して参りました。

各々が各々の想いや考えでもって歩もうとする気概が生まれてくれば、「あなたという人を見ればあなたの地域が見えてくる」、「地域を見ればあなたがわかる」、そうしたまちづくりが求められているとも感じております。

今、求められている地域活性化とは、地域とそこに住む人々がつながり、その地に住む人を巻きこみ、その人たちが共通の目的をもって地域の再生に取り組む、『ふるさと』に誇りと愛着を持ち、家族や地域との絆を大切にしながら、自分で考え、このまちに相応しい先見性を持ってたくましく未来を切り拓いていく、さらに高い志を持った意気あふれる人材を育成することが極めて重要であり『ひとづくりのためのまちづくり』『まちづくりのためのひとづくり』を目指し、協働、共生の感性を忘れず、今後も変わらず精進を続ける所存でありますので、今後とも御指導、ご鞭撻を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

理事・役員挨拶



須江 健治
直前理事長

抱負: Let's地区大会出場

今年は河原理事長のもと、野球部監督として、また直前理事長として充実した一年を務めさせて頂きました。野球部は「地区大会出場」を目指し、広島遠征や練習試合を重ね第64回岡山ブロック会員懇親野球大会に挑みました。一試合一試合勝ち進むたびに生まれてくる勝利への執念と一体感、その結果育まれる絆を大切に最高パフォーマンスを発揮することが出来ました。準決勝で倉敷JCに同点、じゃんけんで惜敗、結果3位となり地区大会出場を決めた事で、メンバーと共に達成感と悔しさと感動を共有する事が出来ました。勝つ意志を強くして取り組まなければ、LOMに勢いという一体感を醸成するどころか達成感もドラマも感動も味わえないことを学びながら最高のメンバーと共に掛け替えない一年を経験をさせて頂きました。陰日向から支えて頂いた先輩方や多くのメンバー、そして早瀬キャプテンと共に熱く熱く津山JC野球部をやれた事に感謝申し上げます。また、直前理事長としてはJCに恩返しをしたいと言う一心で次代を担うメンバーに経験をつなげ育てる事に重きを置き活動させて頂きました。立场上厳しいことを申す場面もあったとは思いますが、これも全て「青年の学び舎」である津山JCに対する責任と役割、感謝と愛であるご理解いただけたら幸いです。最後に、このメンバーと「王道踏破」し共に一年間歩んで来れた事に心より感謝申し上げます。みんな、ありがとう!



土井 康徳
副理事長

抱負: 推進会議議長として頑張ります!~バイク部も!!~

今年は、副理事長兼【活力ある「つやま」のあしたのために】ビジョン推進会議議長(以下「ビジョン推進会議議長」として一年間邁進してまいりました。副理事長として至らぬ点が多かったかと思いますが、自分なりに河原理事長を支えると同時に、今まで先輩方より学んだ伝統を守り、後輩に伝えていけるよう考えて1年間行動して参りました。特に、ビジョン推進会議議長の任において、協議事項の内容を慎重に協議をするのももちろんのこと、会議で活発に意見が出るようにすること、LOMの今後を担う後輩が伝統を受け継ぎながら大きな視点から議案を考えられるようになることを考えて会議を行いました。もちろん、全てが上手く出来たわけではなく理事長及びメンバーの皆様にご迷惑を掛けたこともあり誠に申し訳なく思っております。最後になりましたが、任命いただきました河原理事長を始めとしたしまして、あらゆる面でお支えいただきましたメンバーの皆様、本年一年間お世話になりまして、誠に有難うございました。



菅田 拓平
副理事長

抱負: 節酒します!~つながりを忘れず大切に~

本年度は副理事長という役職となり、私自身がこの役職を全うするために、自分自身に何かこれまでと異なることを課さなければならぬと考えました。私はこれまでノミネーションという手法でコミュニケーションを行ってまいりました。その過程では多くの失敗や失態もしてまいりました。過ぎたるは猶及ばざるが如し。ノミネーションの目的は、仲間と時間を共有すること、喧々諤々と議論を重ねること仲間を知ること、皆で笑い緊張を緩和すること等ですが、のりが過ぎたれば、のりが目的のようになり、本末転倒となることがあります。これを本年度は控えるところは控え、副理事長という役職を強く認識し、本来の目的を達成するために時間の使い方を行いました。このことにより、時間を有効に使うことができたことと確信しております。これからも、自分自身に足りないものを補うことや成長につながることを課し、大好きなつやま仲間のために時間を使い、メンバーとの友情を育ててまいります。



脇 優太
副理事長

抱負: 未来志向の会員拡大へ いこう拡大15名!!

『未来志向の会員拡大へ いこう拡大15名!!』の抱負を掲げた迎春の会。会員拡大担当副理事長の任命に、責任の重さを痛切に感じながらスタートした時を今でも覚えています。会員拡大の王道を踏破するため、LOMメンバーの会員拡大に対する意識を継続的な運動・活動になるように歴代の拡大委員長から引き継いだ大切な資料を基に、長谷川前年度担当率いる心強いメンバーと未来志向の会員拡大へ議論を交わし、資料の一新、情報交換、JC色なしの異業種交流会等、未知なる会員拡大に後ろを振り向くことなく1年間やり遂げることができました。これも拡大メンバーの心強い支えと、LOMメンバーの様々な情報提供のお陰だと感じます。結果がすべての会員拡大。地域のオピニオンリーダーであり続ける気概と覚悟に満ちた仲間が集まる魅力ある団体であることを発信し、人間としての成長が望める場、地域を動かしていくことができる場、真の仲間が築ける場ということを入会候補者に伝播するのは、個々の日頃からの自覚が大切だと感じました。最後になりましたが、親愛なる先輩・LOMメンバーの皆様、陰ながら行動をして頂いたことが多数あり、配慮が行き届かず感謝の気持ちをお伝えできなかったことがあったと思います。本当にありがとうございました。また、次年度入会候補者の皆様、素晴らしい決断ありがとうございました。ともにかけがえのない思い出をLOMメンバーとともに築いていきましょう。



福田 邦夫
副理事長

抱負: 夢を共に考え熱意をLOMに!

2015年度、河原理事長の掲げた「王道踏破」というスローガンのもと副理事長という大役をいただきました。会議では津山城天守再建推進会議の議長として、各種団体の会合に出席させていただき貴重な経験をさせて頂きました。ただ、もっと大きな成果をメンバーとともに共有していくための取り組みをしておくべきだったという反省もありました。岡山ブロック協議会では国家憲法確立委員会へ出向もさせていただき、田母神俊雄さんや作家の吉木誉絵さんをお招きしてのパネルディスカッションを行った事業は大変やりがいのあるものでした。やり残したこともたくさんありますので、しっかりとやるべきことを最後までやっていきたいと思っております。まずは皆様1年間大変ありがとうございました。



土居 大介
総務委員長

抱負: Let it be Let it go

2015年度は、LOMでは総務委員会委員長を務めさせていただき、出向では岡山ブロック協議会副会長という大役を仰せつかり充実した一年を過ごさせて頂きました。本年度総務委員会委員長として、会議資料の作成及び配信はもとより、会議等の進め方を総務委員会でしっかりと議論しよりスムーズに充実した会議が行われるように書面での報告を取り入れる試みを行いました。このことにより理事役員はもとより出向者の活動内容等もより伝わりやすくなったと感じました。出向においては、岡山ブロック協議会主権国家確立委員会担当副会長として、本年5月2日に岡山ブロック協議会憲法事業の『全国一斉!国民の主権者意識醸成プロジェクト~自分たちの未来を考え語り合い描く~』を、皆様のご協力の下開催することができました。ラストの年となる2016年度は、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会 会計監査人及び公益社団法人日本青年会議所内部会計監査人グループ中国地区代表としてとして大役をいただいております。今までの経験を活かしラスト一年走り抜けます!皆様一年間ありがとうございました。



鈴木 大介
専務理事

抱負: 「はい!喜んで!」の精神で何事も全力踏破

本年度、専務理事を仰せつかりました。私自身の経験不足などにより至らぬことが多く河原理事長をはじめメンバーの皆様にはご迷惑をお掛けする場面も多々ございましたが、メンバーの皆様のお支えのお蔭で一年間全うすることができました。心より感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。



有本 紳介
人間力開発室 室長

抱負: 背中では語ることのできるJAYCEEの確立

本年度、人間力開発室では、会員広報委員会と指導力開発委員会の担当として、(一社)津山青年会議所の要となる大きな役割をいただきました。河原理事長の『WALK THIS WAY 王道踏破 志を持ち未来を切り拓く道を歩む』のスローガンのもと、『背中では語ることのできるJAYCEEの確立』を私自身の一年間の抱負として運動・活動を展開してまいりました。また、津山市民憲章推進協議会事務局長として、出向させていただき、市民憲章デーでは『市民憲章ソング』を発表しました。市民憲章の条文がメロディーとして広く津山の方々の心に自然と響き、流れていくことを願い作成しました。今後もこのメロディーが津山のあらゆるところで聞ければと思います。本当にこの一年間はみなさまに支えられ感謝の言葉しか出てきません。一年間ありがとうございました。



鳥越 俊之
地域力推進室 室長

抱負: 地域力を推進し、まちづくり・ひとづくりに邁進します

本年度、河原理事長より地域力推進室 常任理事 室長にご指名いただき、まちづくりについて深く勉強をさせていただく一年でありました。植月副室長にしっかりとサポートいただき、小笠原委員長率いる城下町つやま未来創造委員会メンバー、末澤委員長率いる心の教育推進委員会メンバーの皆様と共に、本当に充実した一年を過ごす事が出来ました。至らぬ室長でありましたが、心に残る事業を開催する事ができ、汗と涙を流して共に感動を分かち合えた事は私にとって大きな財産となりました。ご指導いただきました河原理事長をはじめ、理事・役員の皆様には心より感謝いたします。一体感をもって室を運営できた事が本当に嬉しく、室メンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。一年間ありがとうございました。



北村 暢宏
交流・情報室 室長

抱負: 経験を活かし人財を育成する!!

一年間を振り返ってですが、まず年初に行われた「迎春の会」において、自身における年間の活動指針を「経験を活かし、人財を育成する」とさせていただきました。LOM全体においてもものですが、交流・情報室においても現在経験年数の若いメンバーが多くなってきています。その様な中、当室ではまつりプロジェクト・津山魂わっしょい醸成委員会・2020年の森活性化委員会と行政、他団体と連携を深め事業の推進、また情報交流を行ってまいりました。年当初は他団体との調整に手間取り思う様に進まない事も多々ありましたが、多くのメンバーのサポートもあり事業に結びつる事が出来ました。また、事業の実施の中では多くの特別会員の皆様にもご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。本年の経験を、次年度以降にもしっかりと活かしていきたいと思っております。



橋本 安弘
事務局 長

抱負: 勘定科目を確認します

2015年度、常任理事事務局長として、各会議体にて上程される議案について勘定科目の確認を行うことと議案の上程スケジュールを守ることを心掛けた一年間となりました。また、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2015年度 真のリーダー育成委員会委員長として、出向させていただきました。スローガンを「地域に先駆ける真のリーダーによる岡山の再興」と掲げ、岡山ブロック全会員を対象に各事業を開催させていただきました。まずは、「新会員研修会」では、近年入会した会員を対象に、田中 有美子先輩のVMVセミナー、公益社団法人日本青年会議所 第59代会頭 相澤 弥一郎先輩の講演会を開催いたしました。そして、「ブロックアカデミー」～果敢に挑む強い意志と実行力の増強～では、新会員を対象に、蒜山三座でトレッキング研修を受講させていただきました。ブロック事業の楽しさを体感し、LOMの垣根を越えた会員同士の同期の絆をつくることで同志を増やし、今後のブロック協議会の事業への参加促進につながりました。さらに、「会員拡大担当者会議」では、池端 美和先輩、西原 忠彦先輩、榎本 成孝先輩にご講演をいただき、会員拡大に対する意識の向上を図りました。本年度、LOMメンバーの皆様より多大なるご理解ご協力をいただき、すべての事業を開催することができました。LOMメンバーの皆様には心から感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



岸本 陽平
人間力開発室 副室長

抱負: 自らを律する心

入会当初から理事という役職に憧れ、卒業するまでに一度は経験してみたいと思っていました。それが昨年、委員長の役をいただき、それだけで大変光栄でしたが、本年も副室長という大役を拝命しました。有本室長のもと、平井委員長と河野委員長率いる二委員会を預かり、思うようにいかないことも多くありましたが、気付きの多い、大変やがいの一年でした。やっと室として盛り上がりつつある頃、寂しい気持ちもありますが素晴らしい時間を過ごさせていただきました。人間力開発室の皆さん、室を超えてサポートしてくれた皆さん、そして役を与えてくださった河原理事長、本当にありがとうございました。一方、本年「自らを律する心」を念頭に過ごしてきました。そのおかげで昨年よりも感情をコントロールできるようになったと思います。反面、誘惑に負ける事もあり、しっかりセーブして行けたのならもっと室に貢献出来たのではないかと思います。次年度もこのことを課題とし、フォロアメンバーとして、委員長幹事として精一杯頑張ります。



植月 達也
地域力推進室 副室長

抱負: 家族・社員・JCメンバーへ恩返しする!

本年は、地域力推進室副室長として鳥越室長の下、担当室としての役割を学ばせていただきました。私自身、城下町つやま未来創造委員会、心の教育推進委員会の両委員会を導くことに関しては反省すべき点がありますが、鳥越室長、小笠原委員長、末澤委員長のご尽力のおかげで河原理事長の想いをかたちにすることができたと感じております。また、会務運営対策グループの一員として、渉外活動における膨大な抱負を鈴木専務のご指導の下、岸本陽平副室長、須江庸司副室長と共に経験し、その重要性に気づかせていただきました。そして、野球部、サッカー部の活動では昨年の悔しさと反省を踏まえて、オフシーズンに体幹を鍛え、怪めない体づくりができたことが野球では中国地区大会出場、サッカーでは岡山ブロック優勝に貢献できた要因であると考えます。「メンバー、家族、会社にお返しをする」ことを本年度の目標は私自身精一杯行動しましたが、まだまだ至らぬ点のほうが多かったように感じております。今後も内省と反省を繰り返して、引き続きこの目標を達成できるよう努めてまいります。最後に本年度お世話になりました特別会員、メンバーの皆様へ感謝を申し上げ、ご挨拶いたします。誠にありがとうございました。



須江 庸司
交流・情報室 副室長
まつりプロジェクト キャプテン

抱負: つやまって「いいね!」と思える道を創ります

まつりを通じて、つやまの魅力を市民に伝えていくために、「つやまって「いいね!」と思える道を創ります」を本年の抱負として掲げさせていただきました。そして、参加者の活気と来場者の笑顔が溢れるまつりを実施することにより、多くの市民につやまって「いいね!」と感じていただくことができました。第37回津山納涼ごんごまつりでは、プロジェクトメンバーが一生懸命創出した企画を、多くのメンバーで実行していただいたことや、先輩方の大きな支えと強い絆を改めて感じることで、(一社)津山青年会議所の底知れぬ力を体感しました。また、あいあい祭りでは、実行委員長を務めさせていただき、「防災について学ぶ」をテーマとして、自分たちのことは自分たちで、そのためには地域コミュニティが大切ということをお伝えするとともに、私自身も勉強させていただきました。そして、津山まつりでは、徳守神社と大隅神社の御神輿を多くのメンバーで共に汗を流し、一体感をもって担ぐことで、活気に溢れるまつりとなりました。本年は多くの方との関わりを深められ、皆様からのお力添えをいただいたことにより、交流・情報室の副室長、まつりプロジェクトのキャプテンという素晴らしい経験をさせていただきました。一年間本当にありがとうございました。



平井 伸明
会員広報委員会
委員長

抱負: ともに歩み、ともに成長します!

で私たちの運動・活動は先輩から受け継ぎ、今があることを感じてもらうためにも「道」を意識した設営を行いました。活動の根幹となる例会では、委員会やプロジェクトの事業への相互理解を深め、備北新聞社 代表、かのさと体験観光協会 事務局長 仲田芳人氏より「原稿一致」のお題でご講演いただくなど、積極的な運動・活動につなげました。そして8月例会にて皆様とともに100%例会を達成し、納涼会に臨めたことは(一社)津山青年会議所の一体感を感じることができました。また広報として様々な事業に参加し、ホームページなどで発信する中でいつもとは違う視点で新たな気づきを得ました。対内誌あしたを発行し部活動など幅広い情報の共有を行いました。また、岡山ブロック協議会 真のリーダー育成委員会に出向させていただき、つながりや認識を広げることができました。私自身最終年度ということもあり、LOMの為に何ができるかを考え、活動を行いました。しかし振り返って見れば、皆様に助けられ多くの気づきを得て成長する機会をいただき、大変充実した一年過ごさせていただきました。皆様ありがとうございました。



河野 雅樹
指導力開発委員会
委員長

抱負: 率先して行動します

1月19日の新年懇親会の新会員タイムに向け新会員(予定者)には連日連夜の練習を行っていただき、生涯の友情を育み、今後のJC運動・活動の礎を築いていただきました。その後、1月20日より開始しました新会員研修会(研修会)では新会員は課題に対して調査、研究に取り組み、研修会当日には課題発表を行いました。そして、プログラムを通じてJC運動・活動の基礎知識を学び、心構え、三信条を理解してもらうことで、LOMメンバーとしての自覚を持ってもらい、今後のJC運動・活動に邁進してもらうよう取り組みました。今年は参加対象をLOMメンバー全員することでプログラムを通じて、LOMメンバーとしての自覚を再認識していただきました。10月には講師講演「リーダーとしての心構え」を開催しました。講師には一般社団法人津山青年会議所第24代理事長で、菅田(株)代表取締役会長の菅田茂先輩をお招きしご講演いただきました。地域のオピニオンリーダー、経営者として活躍されている菅田茂先輩の実体験を基にした話を拝聴することで、LOMメンバーには率先垂範の大切さを再認識していただきました。この1年間、ご協力、ご支援いただき本当に感謝しております。一年間本当にありがとうございました。



小笠原 翔太
城下町つやま未来創造委員会
委員長

抱負: 委員会一丸となって一年間をやり切ります

迎春の会で掲げた「委員会一丸となって一年間をやり切ります」と言う抱負を胸に、一年間委員長として邁進いたしました。そして委員会としては子どもたちが地域のたからである津山城の魅力を再認識することで、「城下町つやま」の未来に可能性を感じ、まちに愛着と誇りを持つことを目的に事業を計画し、「城熱!!津山城から」~からたて学ぶ地域のたから~を開催いたしました。事業へ多くの小学生にご参加いただき、事業目的を伝えることが出来たのは、計画段階から事業実施にいたるまで眞木副委員長を筆頭に委員会メンバーの皆様にお支えをいただき、抱負として掲げた委員会一丸となることが出来た結果だと感謝しております。また活動基準のひとつである美作国の歴史文化創造のための諸問題については、委員会として一年間調査研究を行ってきたことをまとめ、最後までやり切ることで次年度以降へつなげたいと思います。一年間本当にありがとうございました。



末澤 秀昌
心の教育推進委員会
委員長

抱負: 他人を思いやり、自らを律し、行動します

子どもたちは、日常とは異なる大自然をベースに、目の前に巻き起こる問題に対し、友達やすなおサポーターと次第に打ち解け、協力し、互いに助け合うことを通じて、自然やひととの関係の中で生かされていることに気づき、自然や周りの人に対して感謝の心を育み、素直に感謝の気持ちを伝えることの大切さを学ぶことができました。また、フィナーレでは、子どもたちが、事業を通じて感じた素直な感謝の気持ちを歌詞にしたありがとうございますソングを保護者の前で合唱することができ、素直な感謝の気持ちを伝えることができる人材になってもらえたと確信しました。今後、未来の希望でもある子どもたちが素直な感謝の気持ちを伝え合い、さらにひとと心の交流を深めていく中で、他人を思いやる心や自らを律する気持ちを育み、さらにその輪を広げていってほしいと心から願っております。最後まで協力してくれた委員会メンバーの皆様、そしてLOMメンバーの皆様一年間ありがとうございました。



廣田 勤
つやま魂っしょい醸成委員会
委員長

抱負: つやま魂の醸成に和をもって取りくみます

つやま魂和っしょい醸成委員会では「つやま魂の醸成」をテーマに掲げ、つやまに住む者としての誇り、自信、愛着をもった魂の醸成を目的に創られた「和っしょい!津山」を今後継続的に普及・推進していけるようにするために「心一つにみんなで和っしょい!つやま魂」を開催いたしました。事業を通じて参加者の皆様に、つやまの魅力を再認識していただき、つやまを大切にす心や誇りに思う心を育みながら今後の普及・推進の基礎となる映像や資料を作成しました。イメージPVの作成を主に、本当に沢山の方々のご支援・ご協力を賜り、記憶にも記録にも残る事業にすることが出来ました。今後この事業で築いた基礎を元に普及が進み、「和っしょい!津山」が愛すべきつやま全体の誇り、活力となり、また文化になっていくことを願っております。本事業にご支援・ご協力いただいた皆様、LOMメンバーの皆様、そして一番近くで支えていただいた委員会メンバーの皆様心より感謝申し上げます。



山本 俊輔
2020年の森活性化委員会
委員長

抱負: 2020年の森を未来へ遅くつなげていきます

本年で39年目となる2020年の森は、その長い歴史の中で初めて委員会となりました。創始の目標である2020年が間近に迫り、「何故2020年の森が始まったのか」「現役メンバーに求められていることは何か」ということを日々考え続ける一年となりました。2020年の森は「継続してメンバーの知恵と汗と一つのことに取り組むこと」に意義があり、「ひとつづくり・まちづくりを行う組織として、独自の『連帯』を養う事業」という本質があるということをメンバーに伝えていただきました。この『連帯』が2020年の森の目的である「地域の発展に寄与する」のであり、先輩方の「想い」と共に我々現役メンバー自身が「想い」を育み、次代につなげていく必要があると思います。また、管理・育成事業では、第30代理事長であります秋田健仁先輩をお招きし、2020年の森とタイムカプセルに込められた想いを拝聴させていただきました。その中で健全に成長し続けている2020年の森を見て、現役メンバーに対して感謝のお言葉をいただくことができました。本当に多くの先輩方に激励をいただくことができ、交流・情報室をはじめとする現役メンバーの皆様には大きな力添えをいただき、一年間を全うすることができたと思います。最後に私に委員長という役職を与えていただいた河原理事長には心から感謝申し上げます。皆様、本当にありがとうございました。



光岡 宏文
顧問

抱負：感謝と和っしょいLOMをしっかり盛り上げていきます

今年度、河原理事長のもと津山JC顧問としてJC生活最終年を過ごさせていただきました。自分が今まで経験させていただいたことをしっかりとメンバーに伝えていくことを使命とし、自分が悩む時、様々な助言をいただいた先輩方のように、メンバーに対して想いを伝える一年となりました。また、まつりプロジェクトにも参加させていただき、若いメンバーとも深く交流することができました。メンバー数は昔に比べると少ないですが、皆まじめで一生涯懸命取り組み、すばらしい一体感があります。その一体感をもって、LOM内のみならず、地域、他団体の方々、先輩方とのつながりをさらに深めていただきたいと思います。私自身も今年度、地域や他団体とも積極的に交流させていただく中で、自分自身が視野を広げさせていただくと共に、JCに対する大きな期待を実感することができました。自分たちのまちは自分たちでつくるという気概をもって、地域の為に率先して行動できる人でありたい、また今後もそのような組織であってほしいと改めて考える機会となりました。最終年となる本年も多くの皆様に支えられて一年を過ごすことができましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度、河原理事長のもと津山JC顧問としてJC生活最終年を過ごさせていただきました。自分が今まで経験させていただいたことをしっかりとメンバーに伝えていくことを使命とし、自分が悩む時、様々な助言をいただいた先輩方のように、メンバーに対して想いを伝える一年となりました。また、まつりプロジェクトにも参加させていただき、若いメンバーとも深く交流することができました。メンバー数は昔に比べると少ないですが、皆まじめで一生涯懸命取り組み、すばらしい一体感があります。その一体感をもって、LOM内のみならず、地域、他団体の方々、先輩方とのつながりをさらに深めていただきたいと思います。私自身も今年度、地域や他団体とも積極的に交流させていただく中で、自分自身が視野を広げさせていただくと共に、JCに対する大きな期待を実感することができました。自分たちのまちは自分たちでつくるという気概をもって、地域の為に率先して行動できる人でありたい、また今後もそのような組織であってほしいと改めて考える機会となりました。最終年となる本年も多くの皆様に支えられて一年を過ごすことができましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



村上 雅人
外部監事

抱負：□を○にする

本年は外部監事として、また新たな一年を過ごさせていただきました。1年間携わりをいただきました皆さまに対し、感謝申し上げます。役割柄少し外から組織やその運動を客観視することができ、故にまた違った視点で新たに感じることもございました。そして、本年は河原理事長の強いリーダーシップのもとこの地域を活性化する多くの事業を市民、行政、各団体と共に開催致しました。メンバー自身にとっても、年間を通じて様々な事業を経験することにより、一人ひとりの力は微力ではあるが決して無力ではないことを証明し、そして、地域を愛する気持ちが終結した時に大きな成果が生まれることを実証することができたことは、改めて敬意と感謝の意を表すところであります。来年は新たな1年が始まります。これまで経験をさせていただきましてことを無駄にしないよう更に精進し、地域においてまた新たな役を担っていきたく思います。最後になりましたが、JC運動を通じていただいたすべての皆様との出会いに厚く感謝申し上げます。監事としてのご挨拶といたします。誠にありがとうございました。

本年は外部監事として、また新たな一年を過ごさせていただきました。1年間携わりをいただきました皆さまに対し、感謝申し上げます。役割柄少し外から組織やその運動を客観視することができ、故にまた違った視点で新たに感じることもございました。そして、本年は河原理事長の強いリーダーシップのもとこの地域を活性化する多くの事業を市民、行政、各団体と共に開催致しました。メンバー自身にとっても、年間を通じて様々な事業を経験することにより、一人ひとりの力は微力ではあるが決して無力ではないことを証明し、そして、地域を愛する気持ちが終結した時に大きな成果が生まれることを実証することができたことは、改めて敬意と感謝の意を表すところであります。来年は新たな1年が始まります。これまで経験をさせていただきましてことを無駄にしないよう更に精進し、地域においてまた新たな役を担っていきたく思います。最後になりましたが、JC運動を通じていただいたすべての皆様との出会いに厚く感謝申し上げます。監事としてのご挨拶といたします。誠にありがとうございました。



長谷川 毅
監事

抱負：感謝の気持ちを持ち自らの成長に邁進します

現在の私達を取り巻く環境は、日々刻々と大きく変化をし、先行きの見えない経済の低迷や政治の混乱に伴い全体の活気が薄らぐと共に自己責任と役割を果たさない、他人任せの体質が感じられる時代となってきています。そのような中、我々は青年経済人としてこの地域を盛り上げるにあたり、率先してものごとに取り組む勇気、全力で取り組む勇気を持ち自らが率先してつやまを導いていくという気概をもって、積極果敢に行動していかなければなりません。また活力あるまちをつくる為には、地域の魅力を再発見しながら、つやまに誇りと愛着がもてる地域をつくらなければなりませんその事により地域全体が一体となり盛り上げていく事で笑顔と活気溢れる地域となっていくと考えます。また、これからの会員減少が予想される事に伴いメンバー一人ひとりの責任や役割が多くなる中で、我々がいかに津山青年会議の魅力や取り組み姿勢を示していかなければなりません。そのような事を念頭に置き本年度は、様々な事業が展開され今後の青年会議所の運動活動に大いに参考になる事業が展開されました。次年度以降も本年まで培われた事を参考にして頑張っていきたいと思ひます。一年間ありがとうございました。

今年度、河原理事長が掲げられる王道踏破「志を持ち未来を切り拓く道を歩もう」のもと監事として務めさせていただきました。先行きの見えない経済の低迷や政治の混乱に伴い全体の活気が薄らぐと共に自己責任と役割を果たさない、他人任せの体質が感じられる時代となってきています。そのような中、我々は青年経済人としてこの地域を盛り上げるにあたり、率先してものごとに取り組む勇気、全力で取り組む勇気を持ち自らが率先してつやまを導いていくという気概をもって、積極果敢に行動していかなければなりません。また活力あるまちをつくる為には、地域の魅力を再発見しながら、つやまに誇りと愛着がもてる地域をつくらなければなりませんその事により地域全体が一体となり盛り上げていく事で笑顔と活気溢れる地域となっていくと考えます。また、これからの会員減少が予想される事に伴いメンバー一人ひとりの責任や役割が多くなる中で、我々がいかに津山青年会議の魅力や取り組み姿勢を示していかなければなりません。そのような事を念頭に置き本年度は、様々な事業が展開され今後の青年会議所の運動活動に大いに参考になる事業が展開されました。次年度以降も本年まで培われた事を参考にして頑張っていきたいと思ひます。一年間ありがとうございました。

本年度の歩み

松本 宏光

会員広報委員会 副委員長

抱負：多くの事業に積極的に参加します

今年度は、いろいろと積極的に参加していきたいと考え、仕事、家庭、JCと全力で取り組んで参りました。自分なりに頑張れたと思う一方、もっと頑張れたのではなかったかと反省する部分もあります。この反省を整理し、次年度に向けてさらに積極的に取り組んで行きたいと思ひます。

西村 明秀

会員広報委員会 幹事

抱負：人能弘道、非道弘人也

今年度は、常に自身の努力と向上が必要と感じ、抱負を掲げさせていただきました。しかし、振りかってみれば反省することも多い一年となりました。この経験を活かし、次年度以降も頑張りたいと思ひます。

福島 邦洋

会員広報委員会 委員 ジャがいもキャプテン

抱負：ジャがいもキャプテンやりきります！

ジャがいもキャプテンとして、ブロックジャがいも大会・秋季県北4JCジャがいも大会・OB会ゴルフコンペ並びに追い出しコンペ、すべての大会において皆様のご理解ご協力多数のご参加を頂き本当に感謝・感激の一年間でした。特別会員またメンバーの皆様、本当にありがとうございました。

梶岡 伸吉

会員広報委員会 委員

抱負：例会ががんばります

今年はラストイヤーにも関わらず、何もませんでしたので、何も言うことはありません。皆さん、いままで色々有り難うございました。

片田 恭裕

指導力開発委員会 副委員長

抱負：率先垂範を浸透させます

あつという間に過ぎた1年だと思ひます。河野委員長より副委員長を指名され、何とか力になれたらと思ひ受けさせていただきましたが、力不足ではございましたが、委員長ともに率先垂範させていただきました大変、糧となりました。この経験のもと次年度以降頑張っていきたいと思ひます。

早瀬 久善

指導力開発委員会 幹事

抱負：地区大会に出場します

今年度、津山JC野球部が地区大会出場という目標を達成することができたのは、野球部員だけの力ではなく、メンバーの方、先輩OBの方々など様々な方の支えや、御支援の結果であると感じております。大変有難うございました。

池田 裕也

指導力開発委員会 委員

抱負：ひとづくり、がんばります！

久しぶりのひと系委員会でしたので、思い出しながら少しでも経験が役に立てばと活動しました。特に新会員の皆様との研修事業は思い出深いものとなりました。JCで培われたことが地域に波及されますことを祈念し、1年間の御礼とさせていただきます。

眞木 祐治

城下町つやま未来創造委員会 副委員長

抱負：委員長を支え、委員会をしっかり盛り上げます！

素晴らしい事業に携われたこと、委員会出席率も良くて楽しい委員会になったことを委員長を始めとする委員会メンバーに感謝します。また、会員拡大大会の幹事として多くの経験をさせていただき、実り多き一年となりました。

田邊 久人

城下町つやま未来創造委員会 幹事

抱負：何事にも前向きに行動する。

城下町つやま未来創造委員会に配属になりまして、委員会メンバーの素晴らしいさを感じさせていただきました。自分なりに成長出来たと思ひます。一年間大変お世話になりましたありがとうございました。

石原 雅志

城下町つやま未来創造委員会 委員

抱負：津山青年会議所の運動・活動に積極的に取り組みます

一年を振り返り津山青年会議所の運動・活動に積極的に取り組めたと思ひます。次年度はラストの年ですので、より積極的に取り組みたいと思ひます。

西村 憲明

城下町つやま未来創造委員会 委員

抱負： 自らの役割を自覚し、目的を達成します。(^^)/

本年度は城下町つやま未来創造委員会に配属となり、1年目、2年目の気づきと反省を踏まえ取り組み、自分なりに目標を達成できたと思っています。本年度の経験を次年度の運動・活動に活かしていきたいと思っています。

村上 卓也

心の教育推進委員会 幹事

抱負： 健康に気をつけ事業皆出席します

2015年度を振り返るとブロック出向始め、LOM外でも様々な経験をさせていただきました。目標の事業皆出席にはなりませんでしたが、健康に気を付け1年過ごせました。2016年度もよろしくお願ひいたします。

尾島 佑輔

心の教育推進委員会 委員

抱負： 心を鍛え、高見を目指しまだ見ぬ景色を見ます

本年度、3年目となるJCでの一年は、私にとって非常に実りのある充実したものとなりました。JCの厳しさ、そして温もりを改めて感じる事が出来たように思います。来年も機会を無駄にせず精進してまいります。

秋田 義徳

つやま魂和っしよ醸成委員会 幹事

抱負： 情熱をもって踊ります

委員会幹事として、また、おどり分科会チーフとして、各団体への和っしよ!津山及びごんご囃子の普及とごんごまつりの成功に向け邁進いたしました。その中で、一人でも多くの方におどってもらいたいという情熱の元で、私自身が一番楽しくおどることができ非常に充実した一年となりました。皆様に感謝を申し上げます。

保田 知己

つやま魂和っしよ醸成委員会 委員

抱負： 岡山ブロック協議会で得た他 LOM とのパイプを LOM で活かします

本年度は、和っしよ!津山実行委員会、ごんごまつり企画部会、ブロックへの出向など、他団体、他LOMとの交流が多い一年になりました。次年度以降もこの抱負の気持ちを忘れず、少しでも津山JCに、そして津山圏域の一助になる様に邁進していけたらと思います。

奥田 孝弘

2020年の森活性化委員会 幹事

抱負： 礼儀礼節をわきまえ、志を持って仲間と歩んでいきます

本年度、2020年の森活性化委員会の幹事として礼儀礼節を持って取り組めたかと言えば、できていなかった部分もありますが、2020年の森活性化委員会メンバーとは本当に楽しく1年間を過ごさせていただきました。

金田 長一郎

2020年の森活性化委員会 委員

抱負： 自らの役割を見つけしっかりと果たします

今年の抱負である、「自らの役割を見つけしっかりと果たします」ということが出来ているか考え、自分なりに役割を見つけて実行してきました。本年度の経験をともに、次年度以降もさらに頑張っていきたいと思っています。

森山 裕一

心の教育推進委員会 副委員長

抱負： 委員会皆出席委員長を支えます

今年は、委員会皆出席、委員長を支えますと言う抱負を掲げ、一年間取り組んできました。この一年、本当にいろいろありました。この目標は達成出来たと感じています。その中で、沢山の事を学んだ経験を次年度以降にしっかりと活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。

小林 諭卓

心の教育推進委員会 委員

抱負： 自分らしくマイペースに一歩一歩

今年も一年間皆様大変お世話になりました。今年度の抱負は「自分らしくマイペースに一歩一歩」ということでしたが、マイペースにできたのかと反省する事が多々思い浮かびます。何はともあれ一年間無事に大きなケガもなく皆様のお陰で過ごせた事に改めて感謝しております。

片山 英之

つやま魂和っしよ醸成委員会 副委員長

抱負： 廣田委員長を全力でサポートします！

本年度、廣田委員長を支える予定が廣田委員長や委員会メンバー、交流・情報室メンバーに支えられる一年となりました。多くの気づきやつながりを与えていただき、本当にありがとうございました。この一年を糧に次年度、委員長として邁進していきたいと思っています。

中川 洋平

つやま魂和っしよ醸成委員会 委員

抱負： 志を持ち一歩一歩前へ歩みを進める

本年度は岡山ブロック協議会に出向させていただき、様々な気づきを得てマイペースながら歩みを進められたものと思います。最終年度に向け、充実した一年を過ごせることができました。ありがとうございました。

流郷 知寛

2020年の森活性化委員会 副委員長

抱負： 情熱を気概をもって事に取り組みます

本年度、2020年の森活性化委員会の山本委員長のもと、副委員長をさせていただきました。多くの経験や学びをいただきました。心から感謝しております。未だ未熟者ですが、今後も情熱と気概をもち、事に臨んでいきます。

龍門 慶輝

2020年の森活性化委員会 委員

抱負： 使命感を持って行動する

本年度、2020年の森活性化委員会委員として山本委員長をお支えすべく使命感を持って行動いたしました。この後も経験を活かしLOMを盛り上げるべく、最終年度頑張ります。

井上 高志

2020年の森活性化委員会 委員

抱負： 学べば為すあり

私は「学べば為すあり」という吉田松陰の言葉を今年度の抱負として掲げました。学びを得た者には行うべきことがあるという意味の通り、今年学んだことを活かし、次年度以降、津山青年会議所を通じて地域に貢献していきたいと考えております。

本年度の歩み 2015年度新会員



勝山 和昭

心の教育推進委員会 委員

抱負： 逆境は、成功への糧とする

私の今年の抱負は、「逆境はくじけず糧とする」です。JCという団体がどのような団体か解らず入会しましたが、メンバーや特別会員の方々に「新会員研修を乗り越えたら、得るものがある」と言われた意味が解るようになったと感じます。まず、新年懇親会でのアトラクションの練習では同期の団結力を教えていただき、京都会議での志同じくする仲間の多さに驚きました。さらには、多くの事業に参加し地域の発展のために、メンバーが尽力している姿をみて、想いを知りました。今後、JCメンバーとして多くの事業に参画し、感謝の心を忘れず邁進してまいります。



黒瀬 光康

会員広報委員会 委員

抱負： 地域貢献できるよう全力で努力します

本年度の目標は、地域貢献を頑張るでした。時間に限界はあったものの、メンバー皆様のおかげで色々な経験をさせていただきました。地域事業、JC事業などに参画させていただき、今まで知らなかった皆様の努力、大変さを改めて痛感させていただきました。またメンバー皆様が、先輩を大切にする想いや地域を想う気持ちは大変勉強になり、今後のJC運動・活動や会社の運営にも大変、参考となりました。ありがとうございました。



森元 宏

つやま魂和っしよ醸成委員会 委員

抱負： 失敗から学び、挑戦する素直さを忘れない

素晴らしい御縁で、入会させていただき、早いもので一年が経ちました。一年間を振り返ってみると、色々な経験をさせていただきました。その中でもメンバーの方々との出会いです。メンバーの方々の輪の中に入れていただき、一つの目標に向かって、運動・活動を一生懸命行う事で、自分が住み暮すまちに愛着と誇りを持つ事になれた事に心より感謝しております。メンバーの方々に御縁をいただいた事に感謝し、自分自身の出来る事をしっかりと考え邁進してまいりますので、今後共よろしくお願ひいたします。



藪木 健之

城下町つやま未来創造委員会 委員

抱負： 様々な経験をつみ己の成長を目指します

2015年は仕事、家庭、JCと慌ただしい毎日を通り、あつと言つ一年間でした。改めてこの1年間を振り返ってみますと本当に多くの方との出会い、今まで感じる事なかった言葉や想いの重さを学ぶ事が出来ました。迎春の会で今年度の抱負を書きましたが、様々な経験を積み事ができ、成長につながったのではないかと感じております。そして、この(一社)津山青年会議所へ入会する事が出来た事への感謝を忘れず、次年度も多くの事業へ参加し己の成長につなげていきたいと考えておりますので、これからも宜しくお願ひいたします。

卒業生挨拶

河原 淳 入会前より、近からず、遠からずの存在であった津山青年会議所に、縁あってお声がけをいただき、2002年に入会させていただきました。卒業まで14年間の在籍期間を有していたので当初は、「おそらく途中で息切れして退会するだろうな。」「やめる直前まで得られるもん、つながるもんは大事にしよう。」と自分を鼓舞しながら、なんとか卒業をさせていただける運びとなりました。これもひとえに諸先輩方をはじめ、若い古いを含めた現役メンバーの導きや後押しによるものだと卒業を間近に控える今やっと実感することができ、感謝の、また「こんな自分でもここまで引っ張って、支えてくれたんだ。」という、自信に満ちた気持ちでいっぱいです。おおよそ内向的で、引っ込み思案(自虐思考)な私自身の視野を拡げ、前向きな考え方を教授いただき、また多くの方々とつながりをいただいたことは、今後の人生においても何にも代えがたいものであると痛感しております。入会当初より卒業後からが本当のまちづくりであり、JC運動・活動の真価が問われるものであると何っておりましたし、14年間の現役メンバーとしての活動を通じて強く、深く心に刻まれておりますし、さらにその思考を様々な実践の場で持って反映していくことをお誓い申し上げまして、卒業生の挨拶とさせていただきます。皆様、ありがとうございました。

土井 康徳 自ら津山青年会議所(以下「JC」)への入会を志願し、2006年入会から10年。いよいよ、卒業となります。JCに入会した自分と入会しなかった自分を考えた時、比べる術はありませんが、少なくともJCでの多くの経験・体験とJCを通じてできた仲間や人脈は、当然JCに入会していなければ、得ることが出来なかったものです。これは非常に大きな財産だとも思います。また、10年の間、先輩方から多くの指導や意見を受け取ったことに対し正直腹立たしかったり、面倒に思ったりしていましたが、今振り返れば、JCの伝統を伝えたり、人間的に成長させるために言ってくださっていたものだと今更ながら有り難く思います。後輩の皆様は、JCには、楽しい面も必要ですが、せつかく入会したメンバーを人間的に成長させてあげる為にも、心を鬼にしてメンバーに厳しく指導するようにしてください。最後に、至らぬ点の多い私でございましたが、今までお世話になった皆様、誠に有難うございました。

須江 健治 「仕事と家庭を一生懸命するのは当たり前、仕事も家庭もやりながらJCぐらいのことがしっかり出来るような器にならにゃーいけんぞ、たかがJCされどJCじゃけん、JC舐めたらいけんぞ！」ある先輩が、ほぼスリーピング状態だった私に掛けてくれた言葉です。今こうして9年間のJCライフを無事に終える事が出来るのは、忌憚なく声を掛け引き上げて頂いた多くの先輩方、共に汗を流したメンバー、陰日向からいつも支えてくれた同期、そしてかわいい後輩に出会えたからだと思えます。現役メンバーの皆様へ)必ず誰かが見てくれていて、仲間と共に魂をピカピカに磨き合える「仲良く、楽しく、思いやりをもって互いに厳しく!」この学び舎を信じ、自分自身をスキルアップさせ津山JCそして、ふるさとつやまを益々盛り上げて頂きたいと思えます。最後に、津山青年会議所で気づかせて頂いた「夢」と「愛」の大切さを胸に、卒業してからも良い影響を周りに与えられるよう、日々に心掛けて歩んで参りたいと思えます。JCで出会うことの出来た全ての方に感謝申し上げます。有難うございました。

光岡 宏文 本年度、8年間のJCライフを終えさせていただきました。私はJCにおいて人一倍先輩方に怒られて過ごしてきましたが、その分、今は大きなつながりをいただいたと感じています。また、一つ一つの役も、メンバーの大きな支えの中で、全うすることができました。入会当初は、何とか逃げる理由を考えて過ごしていた自分でしたが、先輩方をはじめ多くの方々にご指導いただきながら活動を続ける中で、何事にも一生懸命な自分、積極的な自分に変えていただいたJCに心から感謝しています。皆で一体となり力強く盛り上げていこうという「和っしょい!」の心をもって、今後の人生においてもJCでの経験を活かし、様々なつながりを大事にしながら、仕事・家庭、そして地域の発展へと、何事にも全力で取り組んでいきたいと思えます。現役メンバーの皆さんも地域とJCに誇りと愛着をもって、運動・活動に邁進していただければと思います。皆様には本当にお世話になりありがとうございました。和っしょい!

梶岡 伸吉

今までJCで本当に何もしてきませんでしたが、人並みに沢山の思い出だけを作ることが出来ました。みんな、本当に有り難うございました。私は静岡に引っ越ししてしまいましたが、皆さんが津山の未来を担う津山ホルモン男児として活躍されることを、遠くからではありますが、応援しています。

鈴木 大介

2012年入会から4年間という短いJCライフではありましたが、非常に多くの経験と多くの素晴らしい仲間に出会うことができました。4年間本当にお世話になり、ありがとうございました。

平井 伸明

2012年から4年間という短いJCライフではありましたが、入会から今にいたるまで、様々な出会いや、様々な機会を得たことが思っておこされます。入会前は、何かと責任から逃れることばかり考えて来た私ですが、歩むごとに変化してゆき、最終年度には理事という貴重な経験をさせていただき機会を得て、責任に真正面から向き合うことができたことは本当に大きな一歩となりました。この4年間の皆様との絆や、様々な経験は私の大切な財産です。残るメンバーの皆様も様々な機会を大切にしてください。その先には今より成長できた自分がいると思えます。短い間でしたが、本当にありがとうございました。楽しかったです。

**編集
後記**

本年度最後の対内誌あしたの発行となります。それぞれの記憶の積み重ねが(一社)津山青年会議所の歴史です。対内誌あしたが記憶の一里塚になり、ある日振り返った時に成長の記録として自信につながったなら、これに勝る喜びはありません。一年間、取材や記事作成などにご協力いただき皆様ありがとうございました。